

R6 大原中学校海洋教育評価

生徒の評価

①仕事の視点

○SUP や西表横断を通して、インストラクターさんやガイドさんから、観光客への丁寧な説明の大切さが必要なことと同時に、世界自然遺産を守るために、ガイドの資格が必要なことや客の入山の際に気を付けていただくことをきちんと説明していることが分かった。

②環境保全の視点

○絶滅危惧種のコブランや数種類のマングローブなどを見ることができ、自然環境を守る意識が高まった。

○西表島の海も今後もきれいであってほしいので、自分自身もポイ捨てをしないことは、もちろんだが、ビーチクリーン活動も頑張る。

○西表の生態系を保つために、植物を採りすぎないことや残すことを意識していきたい。

○宮城県気仙沼市立階上中の皆さんと交流して、初めて知ったことがあった。西表島との共通点、違うところがたくさんあることに気づかされたので、今後の学習に活かしていきたい。

③未来への発信の視点

○自分たちで博物館を作ったことで、実際に西表島を体験できる博物館があるといいと思った。見るだけでも充分楽しめまるが、体験できたらもっと楽しい博物館になるのではと思った。

○博物館を作ってみて、実際の博物館の展示では、お客様（来客）にどう伝えたいか、何を感じてほしいのかを大切にしていることを学んだ。これからの学習でも活かしていきたい。

○ダイビングを通して、このきれいな西表島の海をもっと発信していきたいと改めて思った。

保護者の評価

○国立公園の雄大な自然に親しむことにより、生まれ育った郷土理解につながる効果的な学習となっている。

○地域の観光資源についてより深く考えさせる機会となる。

○ダイビングや SUP 体験、ビーチクリーン等を通して、豊かな自然を守ろうという意識が強くなっていると思う。

学校関係者評価

○各学習において、地域の方や保護者を指導者としている。今後も連携して海洋教育を続けていただきたい。

○やや体験が多いと感じるが、環境や自然保護の視点、郷土文化の視点、職業の視点等に着目させている。学びに深まりを持たせるとなおいい。